



現場との連携
Cooperation with a site

糸貫川清流平和公園の水辺

2016年 土木学会デザイン賞 優秀賞を受賞

主任研究員 大石 哲也

准教授 原田 守啓

(岐阜大学流域圏科学研究センター・前 土木研究所自然共生研究センター)

糸貫川は、岐阜県の南西部に位置し、根尾川から分派され、本巣市、北方町、瑞穂市を横切り長良川へ流れる1級河川です(図1)。糸貫川では、河川と良好な空間の形成を目指すことを目的とし、2013年より北方町の公園整備と県の河川整備が一体となった「かわまちづくり計画」に基づいた事業が進められました。「かわまちづくり計画」とは「かわ」と「まち」をつなぐ賑わいのある水辺空間の形成のために設けられた国土交通省の支援制度です。

自然共生研究センターは、岐阜県から技術協力の依頼を受け、川づくり計画の技術支援を行いました。計画の立案は、県、町、設計業者、施工業者と検討会を開き、担当者間の認識を共有しつつ進められました。検討には模型が用いられ、高水敷の広場から水際までの空間利用の連続性が保たれた、なだらかな

地形となるように整備したこと、水深の浅いせせらぎ水路を設けることで、子供たちが安全に遊べることに配慮すると共に、利用者を川へ誘導することを目指しました(写真1)。また、本事業では、左岸側の既設護岸を撤去するにあたって、洪水時における河道の安定性を流れの数値計算を用いて検討しました(図2)。

2015年4月の完成以降、多くの利用者が足を運ばれています(ヘッダー写真参照)。また、2016年には、土木学会デザイン賞の優秀賞を受賞し、「(空間の価値を)形として引き出すためのエンジニアリング」、「河川管理者と公園管理者の境目のない地形処理」、「人工のせせらぎ水路の導線効果」というような観点から好評を得ています。自然共生研究センターでは、今後も技術支援を通して現場と連携を深め、より良い川づくりに貢献していきたいと思えます。



図1 糸貫川位置図

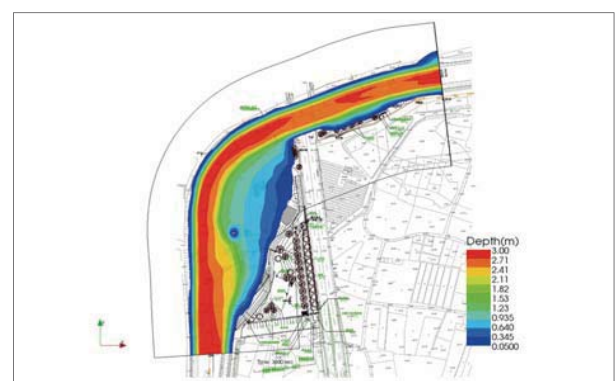


図2 流況計算(iRIC2.3 Nays2DH)による洪水時の水深



写真1 模型を活用した検討の様子(自然共生研究センター内)



写真2 公園と河川の一体整備全景(写真 岐阜県提供) (a) 施工前 (b) 施工後